

消 防 本 部

(総 務 課)

1 消防職員数

平成19年4月1日現在の階級別職員数は、次のとおりである。

消防正監	消 防 司 令 長	消防司令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消防士	その他 職 員	計
1人	5人	17人	31人	70人	17人	30人	1人	172人

2 消防職員の異動状況

出 向

三重県消防学校に出向 1人

三重県航空防災隊に出向 1人

3 消防団員数

平成19年4月1日現在の階級別団員数は、次のとおりである。

(条例定数 559人)

団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員	計
1人	6人	31人	31人 (1)	31人 (1)	85人 (1)	348人 (9)	533人 (12)

(注) () は、女性消防団員数の内数

4 消防団員の異動状況 (平成19年度中)

入団、退団等団員の異動状況は、次のとおりであった。

入 団 45人

退 団 44人

昇 任 73人

分 団 長 に 昇 任 8人

副分団長に昇任 22人

部 長 に 昇 任 25人

班 長 に 昇 任 18人

5 各種資機材の整備

次のとおり車両及び各種資機材の整備を図った。

(1) 消防本部及び消防署

種 別	内 容	数 量	金 額
防火外とう上下型	防火ヘルメット・セパレート型防火外とう・防火長靴	5組	円 693,000
背負い式消火水囊	山林火災対応	6基	119,700
訓練用消火器	蓄圧式水消火器 10型	5本	42,000
軽量空気ポンベ	300kg 充填	20本	1,035,300
軽量消防用ホース	カラーホース 径50mm×長さ20m	40本	982,800
AEDトレーニングシステム	救急法指導用	4組	375,900
吸管引き上げ金具	消火栓用	1台	33,600
短管鎗	消火用 (噴霧ノズル付)	1台	31,290
有毒ガス測定器	二次災害対応用	3基	595,350
防爆ライト	災害現場活動引火防止用品の補充	6基	185,220
チェーンソー	山林火災・震災対応	1台	39,900
発動発電機	梯子車照明用	1台	336,000
充電式救助器具	各種救助対応	一式	236,250
自家用発動発電機	二見出張所庁舎用	1基	3,150,000

(2) 消防団

種 別	内 容	数 量	金 額
発動発電機	夜間対応照明用	1基	円 72,975
防火衣一式	防火ヘルメット・防火外とう上衣	60組	1,256,850

(3) 自主防災隊

種 別	内 容	数 量	金 額
防災隊用資機材	円座町・徳川山各自主防災隊	2組	円 1,731,450

6 施設の整備

次のとおり施設整備を行った。

(1) 工事関係 2箇所

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
矢持町内 地	(注1) 矢持地区活性化事業 消防施設建設工事	木造平屋建 151.46 m ²	(注2) 円 30,450,000	19. 9.21	20. 2.29
二見町茶屋 地	(注1) 消防署二見出張所 新築工事	鉄骨造2階建 234.21 m ² 建築工事 一式 電気設備工事 一式 給排水工事 一式 駐車場整備・国道乗入改修一式	45,972,150	19.10. 5	20. 3.14

(注1) 建築住宅課施行 (注2) 平成18年度から繰越

(2) 委託関係 5箇所

施行場所	工事名	工事概要	金額	着手	完了
二見町茶屋 地	(注1) 消防署二見出張所 新築工事設計 業務委託	鉄骨造平屋建 210.0 m ² 程度	円 1,764,000	19. 5.29	19. 8.24
矢持町内 地	(注1) 矢持町消防施設 変更設計業務委託	木造平屋建 150.0 m ² 程度	(注2) 498,750	19. 5.31	19. 7.31
御菌町長屋 地	(注1) 消防署御菌分署庁 舎新築工事設計 業務委託	鉄骨造2階建 556.0 m ² 程度	2,883,300	19. 8.21	20. 1.31
〃	(注1) 消防署御菌分署庁 舎建設に伴う地質 調査業務委託	ボーリング Φ66mm 47m 標準貫入試験 47箇所 室内土質試験 一式	1,945,650	19. 9. 4	19.11. 2
二見町茶屋 地	(注1) 消防署二見出張所 新築工事 監理業務委託	鉄骨造2階建 234.21 m ²	724,500	19.10. 5	20. 3.14

(注1) 建築住宅課施行 (注2) 平成18年度から繰越

(3) 用地買収 1箇所

施行場所	事業名	地権者数	筆数	面積	金額
矢持町内 地	(注1) 消防施設等整備事業	人 1	筆 1	(注2) m ² 321.64	円 1,929,840

(注1) 用地課施行 (注2) 平成18年度から繰越

7 自主防災補助事業

伊勢市自主防災補助金交付要綱に基づき、次のとおり補助金、助成金を交付した。

(1) 自主防災組織結成届出数 19年度

地域別	旧伊勢市	二見町	小俣町	御菌町	計
届出数(件)	54	7	17	9	87

(2) 訓練助成金

地域別	旧伊勢市	二見町	小俣町	御菌町	計
交付件数(件)	43	2	19	5	69
助成額(円)	1,290,000	60,000	570,000	150,000	2,070,000

(3) 防災補助金

地域別	旧伊勢市	二見町	小俣町	御菌町	計
交付件数(件)	7	1	5	2	15
補助額(円)	972,000	146,000	156,000	80,000	1,354,000

事業対象別	自治区	自主防災組織	計
交付件数(件)	10	5	15
補助額(円)	720,000	634,000	1,354,000

8 コミュニティ消防センター使用状況

コミュニティセンターとして、次のとおり利用があった。

(1) 利用件数及び利用者数、使用許可件数及び使用料収入額

月	大会議室		小会議室		計		許可件数及び収入額	
	件数	使用者	件数	使用者	件数	使用者	許可数	使用料収入額
4	20	387	21	192	41	579	16	26,530
5	17	257	20	187	37	444	21	33,710
6	22	289	18	174	40	463	19	44,410
7	20	305	18	180	38	485	14	36,750
8	15	250	17	170	32	420	21	66,410
9	18	288	18	180	36	468	18	35,140
10	20	304	17	170	37	474	14	24,980
11	15	203	19	190	34	393	16	33,130
12	15	226	13	130	28	356	10	20,980
1	18	244	16	160	34	404	18	43,720
2	19	261	15	150	34	411	13	27,150
3	14	177	16	160	30	337	14	31,760
合計	213	3,191	208	2,043	421	5,234	194	424,670

9 教育訓練

消防組織法第26条の2の規定（消防職員・団員の教育訓練）に基づき、消防職員の知識、技能習得及び技術の向上を図るため、三重県消防学校（鈴鹿市）他に次のとおり派遣した。

(1) 職員

期 間	内 容	開催地	派遣人数 名
19. 4. 6～12. 4	消防学校初任科及び救急課程教育	鈴鹿市	5
19. 4. 13	三重県消防職員意見発表会	尾鷲市	1
19. 5. 9～ 5. 11	消防学校水難救助課程指導者合同訓練	鈴鹿市	1
19. 5. 14～ 5. 25	消防学校水難救助課程指導者派遣	鈴鹿市	1
19. 6. 5	法制執務研修	津市	1
19. 6. 12～ 8. 3	消防大学校専科教育警防科課程	東京都調布市	1
19. 6. 22	主任無線従事者講習	愛知県名古屋市	2
19. 6. 26	自治体ソリューションセミナー	愛知県名古屋市	1
19. 7. 10	潜水土国家試験	愛知県東海市	2
19. 7. 25	救助技術指導会東海大会	鈴鹿市	7
19. 7. 31	火災原因調査技術会	愛知県名古屋市	1
19. 9. 26	四日市市アーケード火災現場視察	四日市市	3
19. 10. 13・14	緊急援助隊訓練	石川県かほく市	6
19. 10. 16	違反是正実務研修会	津市	2
19. 10. 19	主任無線従事者講習	愛知県名古屋市	2
19. 10. 26	特別管理産業廃棄物管理責任者講習会	津市	1
19. 10. 28	心電図講習会	鈴鹿市	4
19. 10. 30～11. 10	指揮隊研修（うち10日間）	愛知県名古屋市	1
19. 10. 31	講師派遣	鈴鹿市	5
19. 11. 6	防災気象講演会	津市	1
19. 11. 8・9	救急コ・メディカルセミナー	愛知県名古屋市	2
19. 11. 21	東海支部違反是正事例研修会	愛知県名古屋市	2
19. 11. 22	講師派遣	鈴鹿市	3
19. 11. 23	鉄道災害事故救助講習会	愛知県名古屋市	1
19. 11. 26	講師派遣	鈴鹿市	3
19. 12. 6～12. 19	消防学校火災調査科火災原因調査課程	鈴鹿市	2

19. 12. 11～12. 13	消防学校上級幹部科	鈴鹿市	1	名
20. 1. 10～ 2. 15	消防学校特別科薬剤投与講習	鈴鹿市及び津市	2	
20. 1. 16～ 1. 29	消防学校初級幹部科	鈴鹿市	2	
20. 2. 8	違反是正に関する事例演習	鈴鹿市	2	
20. 2. 4～ 2. 15	消防学校特殊災害科	鈴鹿市	2	
20. 3. 12～ 3. 14	消防学校消防士長昇任者研修	鈴鹿市	4	
20. 3. 13	改正消防法解説講習会	愛知県名古屋市	1	
20. 3. 17～ 3. 19	消防学校消防司令補昇任者研修	鈴鹿市	1	
		計	76	

(2) 消防団員

期 間	内 容	開催地	派遣人数	名
19. 6. 22～ 6. 24	消防学校消防団員普通科研修	鈴鹿市	1	
19. 8. 27～ 8. 28	三重県消防協会南勢支会先進地視察	石川県輪島市ほか	2	
19. 11. 11	青年・女性消防団員研修会及び交流会	津市	5	
19. 11. 9～11. 11	消防学校消防団員幹部科研修	鈴鹿市	2	
20. 3. 6・ 7	自治体消防制度 60 周年記念式典	東京都	2	
		計	12	

(消 防 課)

1 工事関係

(1) 消防水利施設の新設 2箇所

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
宮後2丁目地内	(注1) 宮後公園内耐震性貯水槽設置工事	耐震性貯水槽 (40 t級) 1基 電気防食測定一式	円 7,077,000	19.10.19	20.1.16
津村町地内	(注1) 主要地方道伊勢南島線津村町地内耐震性貯水槽新設工事	耐震性貯水槽 (40 t級) 1基	4,095,000	19.12.21	20.3.14

(注1) 上水道課施行

(2) 消防水利施設の修繕・撤去 3箇所

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
大世古2丁目地内ほか	消防水利溶着塗装工事	溶着塗装工事 270箇所	円 808,500	19.12.11	20.2.8
御菌町高向地内ほか	消防水利標識設置工事	標識設置 9箇所	333,900	20.1.13	19.3.27
小俣町元町地内	下小俣公設4号防火井戸柵陥没修繕工事	柵陥没改修	99,750	19.7.24	19.7.26

2 救急

(1) 救急医療情報案内

医療機関の案内件数は、次のとおりである。

科 目	件 数	科 目	件 数
内 科	2,602	皮 膚 科	60
小 児 科	1,113	泌 尿 器 科	45
外 科	1,176	精 神 神 経 科	2
整 形 外 科	1,025	脳 外 科	65
産 婦 人 科	15	消 化 器 科	4
眼 科	188	そ の 他	86
耳 鼻 咽 喉 科	153	計	6,534

(2) 証明 (救急業務実施規則関係)

種 別	件 数	手 数 料
救 急 搬 送 証 明 等	8件	1,800円

(3) 月別救急出動及び搬送の実績

総出動件数のうち、急病の出動件数が62.9%であった。

区 分 月 別		事 故 種 別											計
		火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	
4	出動件数	6			74	7	5	51		6	242	44	435
	搬送人員	2			82	7	5	45		3	230	44	418
5	出動件数	5			75	4	7	63	1	4	269	29	457
	搬送人員	1			94	4	7	64	1	3	261	27	462
6	出動件数			1	49	9	6	58	1	3	247	40	414
	搬送人員			1	56	9	6	60		1	232	35	400
7	出動件数	3		4	59	1	2	64	1	11	249	32	426
	搬送人員			2	62	1	2	66	1	2	237	28	401
8	出動件数	2			72	1	3	63	4	2	359	49	555
	搬送人員				92	1	3	61	6	1	345	48	557
9	出動件数	1			54	5	5	61	1	6	312	35	480
	搬送人員	2			62	5	5	58	1	5	294	35	467
10	出動件数	3			64	4	4	50	1	6	293	56	481
	搬送人員				70	4	5	48	1	5	270	48	451
11	出動件数	2			57	4	3	56		7	309	38	476
	搬送人員				75	4	4	54		5	297	37	476
12	出動件数	4		1	60	1	1	53	3	5	343	37	508
	搬送人員	1		1	62	1	1	50	3	2	314	36	471
1	出動件数	4		1	43	5	1	65	4	5	375	53	556
	搬送人員	1			48	5	1	60	4	3	353	50	525
2	出動件数	2			43	2	3	61	2	8	345	45	511
	搬送人員	1			42	2	3	58	2	4	317	42	471
3	出動件数	4		1	50	6	4	62	3	3	281	43	457
	搬送人員				57	6	4	59	3	3	260	40	432
合計	出動件数	36		8	700	49	44	707	21	66	3,624	501	5,756
	搬送人員	8		4	802	49	46	683	22	37	3,410	470	5,531

3 救助（月別救助出動、救助活動及び救助人員の実績）

総出動件数のうち、交通事故の出動件数が54.3%であった。

月別	区分	事故種別												
		火災	交通事故	水難事故	自然災害	風水害等	機械による事故	建物等による事故	酸欠事故	ガス及び	破裂事故	山岳事故	事 その 他の 故	計
4	出動件数	1	3					1					1	6
	救助人員							1						1
5	出動件数		3					1					1	5
	救助人員							1					1	2
6	出動件数		4					1						5
	救助人員		1											1
7	出動件数		4	2									1	7
	救助人員		3											3
8	出動件数													
	救助人員													
9	出動件数		4										2	6
	救助人員												2	2
10	出動件数		1				1							2
	救助人員		1				1							2
11	出動件数													
	救助人員													
12	出動件数													
	救助人員													
1	出動件数		2	1				1					2	6
	救助人員		1	1				1					2	5
2	出動件数		2										1	3
	救助人員		1										1	2
3	出動件数		2	1				1					2	6
	救助人員		1	1				1					2	5
合計	出動件数	1	25	4			1	5					10	46
	救助人員		8	2			1	4					8	23

4 伊勢市自主防災組織の現況

「自分たちの町は自分たちで守る」との視点から、災害発生直後の救出救護、初期消火、避難誘導など、地域住民の自主的な防災活動の習熟を目的に結成された自主防災組織は、次のとおりである。

地域別	旧伊勢市	二見町	小俣町	御菌町	計
隊数	70	10	26	9	115

(予 防 課)

1 許可、承認、諸届、証明書等の事務取扱い

消防関係法令に基づく許認可申請及び各種届出は、次のとおりであった。

(1) 許可、検査及び承認

ア 許可及び検査（消防法第11条、第11条の2、第11条の4関係）

(ア) 件数

種 別		区 分	許 可		完 成 検 査	
			設 置	変 更	設 置	変 更
貯蔵所	屋 内		件 1	件	件 1	件
	地下タンク		3		3	
	移動タンク		1	2	1	2
	屋外タンク					1
	簡易タンク		1		1	
	屋 外		3		3	
取扱所	給 油		4	10	4	9
	一 般		2	3	3	3
製 造 所						
計			15	15	16	15

(イ) 手数料収入

区 分		金 額	区 分	金 額
許 可	設 置	円 475,000	完成検査前検査水圧検査	円 32,000
	変 更	351,000	条例 タンク水張検査	6,000
完成検査	設 置	257,000	条例 タンク水圧検査	
	変 更	167,500		
完成検査前検査 水張検査		6,000	計	1,294,500

イ 承認（消防法第10条、第11条関係）

種 別	件 数	手 数 料
仮使用承認	件 10	円 54,000
仮貯蔵・仮取扱		
計	10	54,000

(2) 諸届 (消防法及び消防法施行令関係)

種 別	件 数	種 別	件 数
屋内消火栓設備設置届	15件	排煙設備設置届	件
屋外消火栓設備設置届	4	連結送水管設置届	2
スプリンクラー設備設置届	14	泡消火設備	1
水噴霧等消火設備設置届		パッケージ型消火設備	2
自動火災報知設備設置届	93	消防用設備点検結果報告届	164
火災通報装置設置届	9	防火管理者選解任届	174
非常警報設備設置届	21	消防計画届	67
避難器具設置届	14	液化石油ガス貯蔵取扱届	65
誘導灯設置届	59	計	704

(3) 承認及び諸届 (火災予防条例関係)

種 別	件 数	種 別	件 数
少量危険物 貯蔵取扱届	15件	防火対象物使用開始届	77件
指定可燃物 貯蔵取扱届		禁止行為の解除承認申請	20
炉・厨房・ボイラー サウナ設備設置届	14	火災とまぎらわしい煙又は火炎 を発生おそれのある行為届	420
発電・変電・蓄電池 設備設置届	79	道路工事届	1,239
乾燥設備設置届	1	水道断水・減水届	35
ネオン管灯設備設置届	2	煙火打ち上げ届	97
催物開催届	8	計	2,007

(4) 証明 (火災原因損害調査規程)

種 別	件 数	手 数 料
り 災 証 明	27件	円 6,400 (32部)

2 消防同意の事務取扱い

消防法第7条の規定に基づく同意の状況は、次のとおりであった。

種 別	新 築	増 築	そ の 他	計
件 数	258件	15件	9件	282件

3 火災の概況

管内（伊勢市、玉城町、度会町）における火災の概況は、次のとおりであった。

(1) 火災件数及び損害額

前年度に比べ、件数は4件減少し、損害見積額は66,170千円の減少となった。

(前年度 火災発生件数65件、損害見積額121,683千円)

月	火災 件数	損害額	火災種別							
			建物火災		林野火災		車両火災		その他火災	
			件数	損害額	件数	損害額	件数	損害額	件数	損害額
4	件 11	千円 13,284	件 3	千円 13,244	件	千円	件 1	千円 35	件 7	千円 5
5	6	2,370	3	1,946			2	424	1	
6	2	8	1	8					1	
7	4	748	4	748						
8	2	1,512	1	1,512					1	
9	2	243	1	243					1	
10	4	14,449	2	9,719			2	4,730		
11	2	1,418	2	1,418						
12	8	2,717	5	2,707					3	10
1	8	14,870	5	14,865					3	5
2	4	2,932	2	2,875			1	57	1	
3	8	962	1	962	1				6	
計	61	55,513	30	50,247	1		6	5,246	24	20

(2) 死傷者 (前年度1人、負傷者8人)

死傷者	計	建物火災	林野火災	車両火災	その他火災
死者	人 1	人 1	人	人	人
負傷者	6	5			1

(3) 火災原因

火災原因はたき火・放火の疑い各8件、たばこ6件、こんろ5件、放火4件の順となっている。

種 別	件 数	種 別	件 数	種 別	件 数
た ば こ	件 6	排 気 管	件	灯 火	件
こ ん ろ	5	電 気 機 器		衝 突 の 火 花	
か ま ど		電 気 装 置		取 灰	
風 呂 か ま ど		電 灯 ・ 電 話 等 の 配 線	1	火 入 れ	
炉		内 燃 機 関		放 火	4
焼 却 炉		配 線 器 具		放 火 の 疑 い	8
ス ト ー ブ	2	火 あ そ び	2	そ の 他	4
こ た つ	1	マ ッ チ ・ ラ イ タ ー	1	不 明 ・ 調 査 中	16
ボ イ ラ ー		た き 火	8		
煙 突 ・ 煙 道	2	溶 接 機 ・ 切 断 機	1	計	61

4 広報活動

防火・救急意識の高揚を図るため、次の事業を実施した。

区 分	回 数	区 分	回 数
地 震 体 験 教 室	回 12	救 急 法 講 習 会	回 53
消 火 器 取 扱 指 導	40	消 防 広 報 誌 の 発 行	2
防 火 講 話	88	署 所 見 学	24
消 防 訓 練 指 導	72	計	291

5 伊勢幼年消防クラブ

幼年期における防火教育の一環として火に対する正しい認識を養い、防火思想の普及を図り、健全な社会人の育成を目的に結成された伊勢幼年消防クラブの現況は、次のとおりである。

クラブ名	員数	クラブ名	員数	クラブ名	員数
みどり保育園	人 14	村松保育園	人 18	マリア保育園	人 50
船江保育園	35	一色保育園	69	有滝保育園	14
大湊保育園	42	たけのこ保育園	48	和順幼稚園	120
東大淀保育園	35	豊浜西保育所	75	ゆたか幼稚園	212
佐八保育園	38	中須保育園	47	計	817